

オープンソースCMS Joomla! による ウェブサイト国際化サービス

Website I18N

ウェブサイト
アイ・エイティーン・エヌ

ソフトウェア国際化開発
自動化・効率化 技術セミナー 資料

2009年7月1日

国際化JP株式会社

はじめに

- グローバル化された現代社会において、ウェブサイトの国際化はもはや欠かすことができません。
- しかし、単なるコンテンツの翻訳だけではウェブサイトの国際化はうまくいきません。
- 国際化JPはオープンソースCMS Joomla! を用いたウェブサイト国際化サービス [Website I18N*](#) によって、ウェブサイト国際化の効率化・自動化を実現します。

* : 「ウェブサイト アイ・エイティーン・エヌ」と読みます。

ウェブサイト国際化の必要性

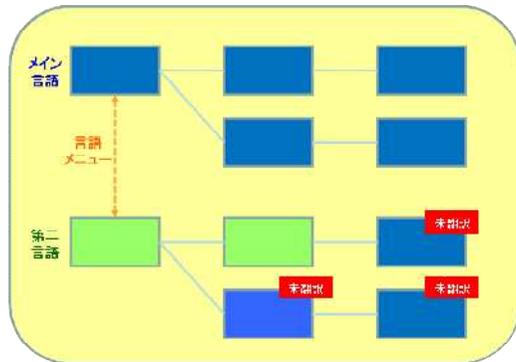
あらゆる分野で求められています。

- 海外進出（企業など）
 - 現地語のウェブサイトが必要
- サービス向上（地方自治体や公共機関など）
 - 増加する日本語を母国語としない住民へのサービス
- グローバルな活動（政府機関、NGOなど）
 - 世界への情報発信（英語 + 現地語）

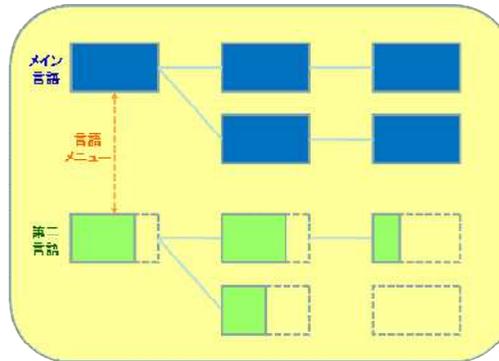
国際化ウェブサイトの問題点

次のような問題サイトをよく見かけます。

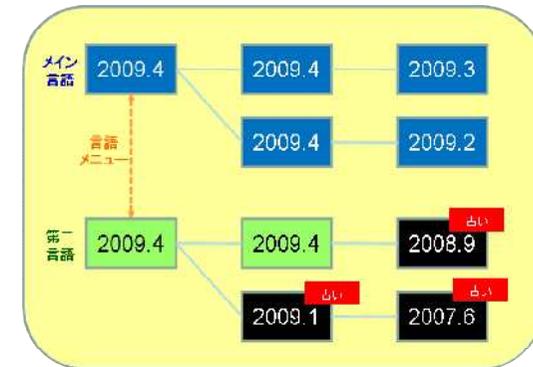
【問題1】メイン言語以外のページが一部しか翻訳されていない



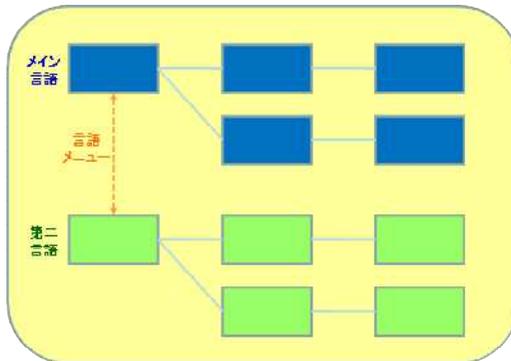
【問題2】メイン言語以外のページの情報量が少ない



【問題3】メイン言語以外のページの情報が古い

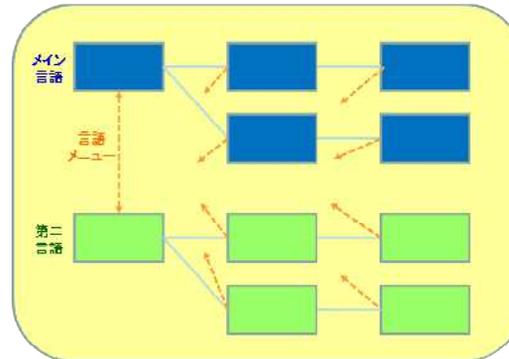


【問題4】言語メニューがトップページにしかない



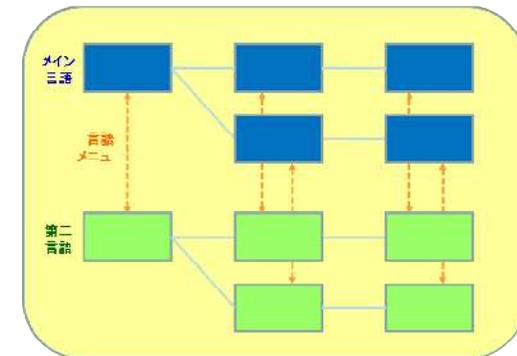
2009年7月1日

【問題5】言語メニューを選択するとトップページに移動してしまう



Website I18N のご紹介

あるべき姿は次のとおり。

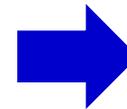


国際化ウェブサイトの特徴

そもそも、国際化ウェブサイトでは、

- 翻訳が必要になる
 - 継続的な翻訳
 - 機械翻訳では精度が不十分
- ページ数が増える
 - 翻訳ページもひとつのページである
 - 言語数に比例して増える
- 言語メニューが必要になる
 - 同じコンテンツの各言語ページ間のリンクが必要
 - 検索エンジン全盛の現在、言語メニューは各ページに必須
 - サイト訪問者は必ずしもトップページから入ってこない

したがって運用管理などのコストがかさみます。
うまくやらないと「問題サイト」におちいってしまいます。



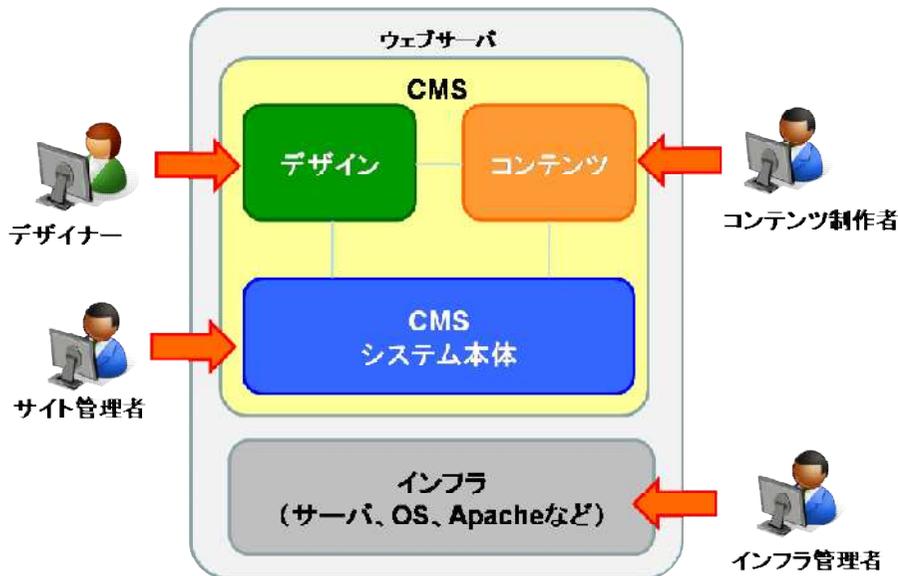
効率的な仕組みが
必要です。

国際化JPの回答: Website I18N

- 国際化JPは、翻訳・ページ増・言語メニューに対応した、ウェブサイト国際化の効率的な仕組みをご提供します。
- それがオープンソース CMS Joomla! によるウェブサイト国際化サービス Website I18N です。
- 長年にわたるソフトウェア国際化の経験を生かしたサービスです。

CMSとは

- (Web) Contents Management System のこと
 - ウェブコンテンツを**効率的**に管理する枠組
 - ブログシステムやSNSシステムもCMSに属する



- コンテンツとデザインをシステムから切り離して管理
 - コンテンツ作成者、デザイナー、サイト管理者間の分業を可能にし、管理の**効率化**を実現
 - サイトデザインの一括管理や変更が容易
- ページが増えるほど CMS 導入の効果は大きくなる

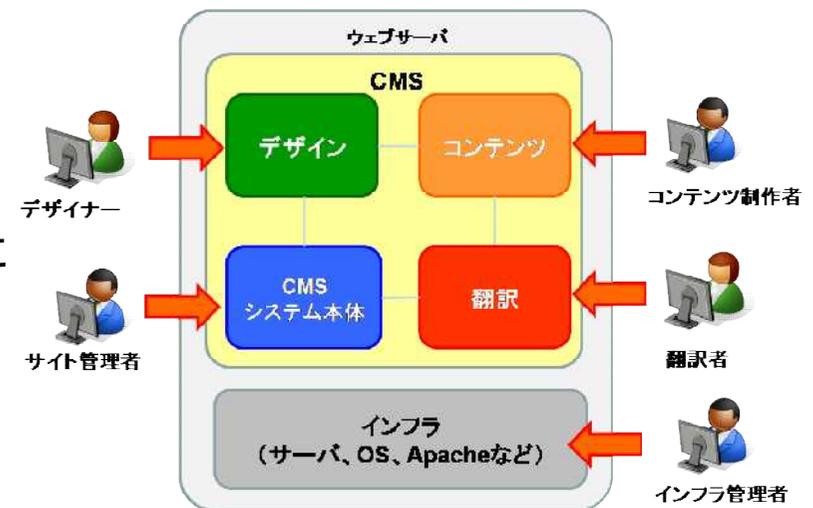
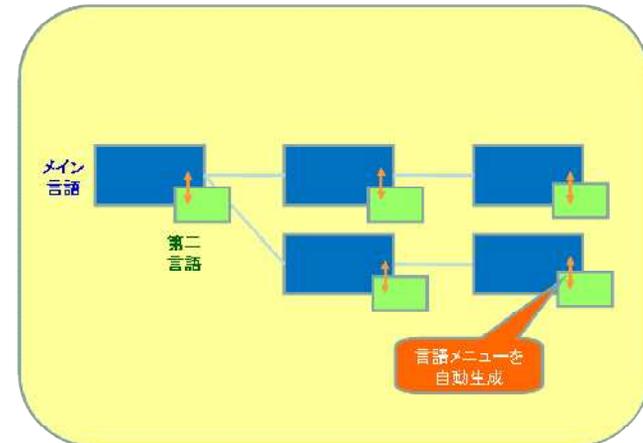
Joomla! とは

- オープンソース CMS
- 世界で最も多く使われている CMS のひとつ
 - 導入実績が多い
 - 日本でも注目度上昇中
- 機能が豊富
 - コア + エクステンション(サードパーティーによる機能拡張)
 - 実用レベルのエクステンションが多数
- 品質が高い
- 管理画面が使いやすい
- ライセンスが無料
 - 商用CMSのライセンスは数百万 ~ 一千万超
- 国際化に対応している



Joomla! の国際化機能

- 50以上の言語に対応している
- **翻訳**を**効率的**に管理する仕組みを備えている
 - 翻訳を属性として管理するのでページ数が増えない
 - **言語メニュー**を**自動**生成する
 - 管理画面のWYSIWYGエディタ上で翻訳できる
 - 管理画面で翻訳のステータスが確認できる
 - 翻訳されているかどうか
 - 翻訳後にメイン言語のページが更新されたかどうか
 - デザイナー、コンテンツ作成者、サイト管理者に加え、翻訳者も分業が可能
- Joomla! 自身も国際化されている
 - インストーラ、管理画面



サービスメニュー

- Website I18N では、既存ウェブサイトのコンテンツとデザインはそのままだに、Joomla!を導入して国際化、多言語対応の枠組みを構築することを基本とします。
 - 実は既存デザインを生かす方が難しいのですが、弊社のスキルと経験を活用して対応いたします。
 - もちろん新規デザインにも対応します。

基本パッケージ	オプション
Joomla! 導入 テンプレート作成 コンテンツ移行 国際化枠組み構築 言語設定	インフラ構築 デザイン変更 コンテンツ追加変更 翻訳 など

- 詳細につきましては弊社担当までお問合せください。

詳細情報

- Website I18N サイト
 - <http://www.kokusaika.jp/service/web-i18n.html>
 - http://www.kokusaika.jp/images/kjp/event/20090417_seminar/website-i18n_seminar_20090417.pdf - 「ウェブサイト国際化セミナー」資料 (2009/04/17 実施)
- サーバー要件
 - Linux RHEL4 相当以上
 - Apache HTTPD 1.3 以上
 - MySQL 3.23 以上
 - PHP 4.3.10 以上
- クライアント要件
 - Internet Explorer 6.0 以上
 - FireFox 2.0 以上
 - Opera 9.6 以上
 - Safari 3.0 以上
- Joomla!
 - 1.5.11 (2009/6/03 リリース) 最新バージョン - セキュリティリリース
 - 1.5.10 (2009/3/28 リリース)
 - URL : <http://www.joomla.org/>
 - URL : <http://www.joomla.jp/> (日本)

左記以外の環境については個別にご相談ください。

事例紹介：国際化JP

- URL
 - <http://www.kokusaika.jp/>
- Website I18N 導入前
 - 日本語と英語の2言語対応
 - 言語メニューはトップページにしかなかった
- Website I18N 導入後
 - 日本語、英語、韓国語、中国語の4言語対応
 - 中国語は学生インターンが管理画面のWYSIWYGエディタ上で翻訳
 - 言語メニューは各ページにある
 - 同じ内容の他言語ページへのリンク
 - サイト内検索、パンくず、サイトマップが追加された
 - Joomla! の機能

事例紹介：アクティブポイント

- URL
 - <http://www.activep.com/>
- Website I18N 導入前
 - ホームページビルダーで作成
 - 言語は日本語のみ
- Website I18N 導入後
 - デザイン、コンテンツはそのまま、国際化対応を行う
 - 現在のページの「そっくりさん」
 - 言語は日本語と英語の2言語に対応

事例紹介：七海インターナショナル

外国人向け日本語レッスンや日本文化セミナー・講演会・イベントなどを企画・実行する会社です。

- URL
 - <http://www.773int.jp/>
- Website I18N 導入前
 - ホームページビルダーで作成
 - 言語は日本語のみ
- Website I18N 導入後
 - デザインはコンセプトを踏襲しつつリニューアル
 - 弊社にて対応
 - 言語は日本語、英語、中国語の3言語に対応

Website I18N のこれから

- 機械翻訳のサポート
 - 機械翻訳と人力翻訳の併用、適材適所の使い分け – ハイブリッド翻訳
 - 量とスピードの機械翻訳
 - 質の人力翻訳
 - 自動化・効率化
 - 機械翻訳による翻訳の自動化
 - 機械翻訳による人力翻訳のアシスト = 効率化
 - 翻訳メモリの活用、など
- 適用分野の拡大
 - EC (電子商取引)、携帯電話...
- Joomla! 新バージョンへの対応
 - 1.5.12 (RC版リリース済み。近日リリース予定)
 - 1.6 (Alpha版リリース済み。今年中にリリース予定)

Thank you.
ありがとうございました。

連絡先:

国際化JP株式会社 Website I18N 担当

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-5 ベンチャーKANDA 407

MAIL: kjp-sales@kokusaika.jp

TEL: 03-5283-9925 FAX: 03-5283-9952

Joomla! および Joomla! ロゴは Open Source Matters の登録商標です。Website I18N は Joomla! Project とは関連がなく、承諾を得ているものではありません。また Joomla! Project および Open Source Matters によるサポートや保証はありません。

Joomla! ロゴは米国および他の国々における商標保持者である Open Source Matters によって許可された限定的なライセンスのもとで使用されます。

2009年7月1日

Website I18N のご紹介